

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京テクノ・ホルティ園芸専門学校
設置者名	学校法人伊東学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程 (新課程)	フラワービジネス学科 ブライダルフラワー コース (2年制)	夜・通信	1,800 時間	80×2=160 時間	
	フラワービジネス学科 フラワーデザイン コース (2年制)	夜・通信	1,800 時間	80×2=160 時間	
商業実務専門課程 (旧課程)	フラワービジネス学科 フラワーデザイン コース (2年制)	夜・通信	1,660 時間	80×2=160 時間	
	フラワービジネス学科 ブライダルフラワー コース (2年制)	夜・通信	1,664 時間	80×2=160 時間	
	フラワービジネス学科 グリーンデザイン コース (2年制)	夜・通信	1,660 時間	80×2=160 時間	
<p>(備考) フラワービジネス学科グリーンデザインコースについては平成30年度までの教育課程であるため、2年次生のみ在籍している。また、フラワービジネス学科フラワーデザインコースとブライダルフラワーコースについては、平成31年度から新たなカリキュラムへと移行したため、1年次生は新課程・2年次生は旧課程のシラバス・実務経験のある教員等による授業科目の授業時間を記載している。1年制課程については、学則に記載しているが、在籍者がおらず現在募集を行っていない。</p>					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開

「情報公開の入口ページ」https://www.ito.ac.jp/about/#a_info

授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。

https://www.ito.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/t_curriculum_h30.pdf

https://www.ito.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/t_curriculum_r01.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京テクノ・ホルティ園芸専門学校
設置者名	学校法人伊東学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公表

「情報公開の入口ページ」https://www.ito.ac.jp/about/#a_info

https://www.ito.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/board_r01.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元 弁護士	2年 2018.12.17 ~ 2020.12.16	法令遵守
非常勤	専門学校 元校長 業界団体 元事務局長	2年 2018.12.17 ~ 2020.12.16	学校運営・教育内容 の企画・立案
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京テクノ・ホルティ園芸専門学校
設置者名	学校法人伊東学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (フラワービジネス学科フラワーデザインコース(2年制)、ブライダルフラワーコース(2年制)、グリーンデザインコース(2年制)) 【作成について】 継続して行われる科目については、前年度のフィードバック等をもとに、新規で開講する科目については、担当教員だけでなく、外部の意見も取り入れながら専任教員や担当教員で十分な検討を行い、素案を作成する。その際には授業内容だけでなく、到達目標、評価方法が適正であるかも検討する。その上で、各科目間との関連や、教育課程編成委員会での外部からの意見、時代の趨勢を考慮する他、各就職分野で必要とされる実践的な内容も取り入れながら調整し、決定する。 【時期について】 翌年度の授業計画は、前年度末(3月末)までに担当教員が作成し、年度当初にホームページや閲覧で公表するとともに、学生に配布する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>HPにて公表 「情報公開の入口ページ」https://www.ito.ac.jp/about/#a_info https://www.ito.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/t_syllabus_h30_r.pdf https://www.ito.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/t_syllabus_h30_e.pdf https://www.ito.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/t_syllabus_h30_q.pdf https://www.ito.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/t_syllabus_r01_r.pdf https://www.ito.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/t_syllabus_r01_e.pdf https://www.ito.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/t_syllabus_r01_q.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>試験（授業内評価）は、各科目の到達度評価を測るものとして授業担当者の責任において授業内で適宜実施する。試験の形態は、筆記試験・実技試験を主たるものとし、必要に応じてレポート・論文などにより行い、単独もしくは複数の方法や授業態度などから総合的に判断し、各科目の授業終了時に授業担当者が評価する。その結果最低合格点の40点に満たない場合には再試験を行うが、再試験でも40点に満たない場合には再履修となる。点数と評価の関係は、100点～80点を優、79点～60点を良、59点～40点を可、40点未満を不可とする。なお、可（40点）以上の評価で単位修得となる。また、学生は評価を受けるには科目ごとの授業時数の3分の2の出席がなければならない。出席時数が3分の2に満たない場合には補講となる。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>試験での点数を100点～80点を優、79点～60点を良、59点～40点を可、40点未満を不可と評価し、GPAを算出する。なお、GPは優を3、良を2、可を1、不可を0とする。科目ごとにGPにその科目の単位数をかけたものを出し、履修した科目分を合計する。その数値を履修した科目の総単位数で割り、GPAを算出する。その数値により全学生の成績分布や各学生の相対順位を把握する。</p> <p>但し、選択科目の履修時間数を2年間で300時間以上と定めていることから、個々によって年度ごとの取得時間数に違いが生じるため、成績評価に公平性を期すために必修科目のみでGPAを算出している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>HPにて公表 「情報公開の入口ページ」 https://www.ito.ac.jp/about/#a_info 「情報公開資料」内20ページ参照 https://www.ito.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/t_disclosure_h30.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、園芸・フラワー等の分野で活躍できる人材を養成すべく、植物に関する基本的な知識、技術をベースに、コースごとでの専門性の高い知識、技術、またビジネスマナーや社会人基礎力についても身に付けさせる。それらについては授業科目ごとの筆記、実技、課題などの試験によって理解度および習熟度をはかる。科目ごとに可(40点)以上の評価で単位修得となる。</p> <p>卒業は2年次末に行われる卒業判定会議において認定されるが、各科目の修得単位数を合計して別途定める卒業に必要な修得単位数を満たしたものに対し、卒業の判定をおこなう。卒業は学校長がこれを認定する。</p> <p>修得単位数等詳細については、学生生活の手引きに記載し、また、HPに公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>HPにて公表 「情報公開の入口ページ」 https://www.ito.ac.jp/about/#a_info</p> <p>「情報公開資料」内20ページ参照 https://www.ito.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/t_disclosure_h30.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京テクノ・ホルティ園芸専門学校
設置者名	学校法人 伊東学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPにて公表 「情報公開の入口ページ」 https://www.ito.ac.jp/about/#a_info https://www.ito.ac.jp/wp-content/uploads/2016/11/statements_h30.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門	フラワービジネス学科 ブライダルフラワーコース (2年制) 新課程	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,905 <u>単位時間</u> / 単位	604 時間	536 時間	120 時間	時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数 (学科定員)	生徒実員 (学科内数)	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	26人	1人	6人	24人	30人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 随時、担任教員による個別面談、進路指導を行い、各個人に合った学修支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			平成30年度実績
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	16人 (94.1%)	1人 (4.9%)
(主な就職、業界等) 株式会社ユー花園、株式会社花弘、株式会社ゴトウ花店、株式会社はこねフローリスト、他			
(就職指導内容) ビジネスマナーの授業内で履歴書や応募書類の描き方、面接での注意点を学生全体に指導するとともに、マンツーマンでの個別指導も行う。			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>園芸装飾技能士3級、フラワー装飾技能士3級、2級、カラーコーディネーター3級、リテールマーケティング3級など、資格取得のための講座を開いている資格については毎年高い合格率を上げている。また、技能五輪全大会フラワー装飾部門の東京都代表に毎年数名が代表に選ばれている。</p> <p>(備考) (任意記載事項)</p>
--

中途退学の現状		平成30年度実績
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	2 人	5.0%
(中途退学の主な理由) 学習意欲の低下 (他業種へ進路変更) 1名、体調不良により修学継続困難1名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個別面談 (状況によっては保護者も交える) の実施 クラス担任制による対応		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門	フラワービジネス学科 フラワーデザインコース (2年制) 新課程	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,905 単位時間/単位	559 時間	536 時間	120 時間	時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数 (学科定員)		生徒実員 (学科内数)	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		18人	0人	6人	24人	30人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 随時、担任教員による個別面談、進路指導を行い、各個人に合った学修支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)				平成30年度実績
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
20人 (100%)	0人 (0%)	19人 (95%)	1人 (5%)	
(主な就職、業界等) 株式会社日比谷花壇、株式会社ユー花園、株式会社リベルテ/レ・ミルフォイユ・ドウ・リベルテ、株式会社パーク・コーポレーション/青山フラワーマーケット、他				
(就職指導内容) ビジネスマナーの授業内で履歴書や応募書類の描き方、面接での注意点を学生全体に指導するとともに、マンツーマンでの個別指導も行う。				

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>園芸装飾技能士3級、フラワー装飾技能士3級、2級、カラーコーディネーター3級、リテールマーケティング3級など、資格取得のための講座を開いている資格については毎年高い合格率を上げている。また、技能五輪全大会フラワー装飾部門の東京都代表に毎年数名が代表に選ばれている。</p> <p>(備考) (任意記載事項)</p>
--

中途退学の現状		平成30年度実績
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
定期的な個別面談 (状況によっては保護者も交える) の実施		
クラス担任制による対応		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門	フラワービジネス学科 フラワーデザインコース (2年制) 旧課程	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間	351 時間	516 時間	120 時間	時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数 (学科定員)	生徒実員 (学科内数)	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	11人	0人	6人	40人	46人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 随時、担任教員による個別面談、進路指導を行い、各個人に合った学修支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	19人 (95%)	1人 (5%)
(主な就職、業界等) 株式会社日比谷花壇、株式会社ユー花園、株式会社リベルテ/レ・ミルフォイユ・ドウ・リベルテ、株式会社パーク・コーポレーション/青山フラワーマーケット、他			
(就職指導内容) ビジネスマナーの授業内で履歴書や応募書類の描き方、面接での注意点を学生全体に指導するとともに、マンツーマンでの個別指導も行う。			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>園芸装飾技能士3級、フラワー装飾技能士3級、2級、カラーコーディネーター3級、リテールマーケティング3級など、資格取得のための講座を開いている資格については毎年高い合格率を上げている。また、技能五輪全大会フラワー装飾部門の東京都代表に毎年数名が代表に選ばれている。</p> <p>(備考) (任意記載事項)</p>
--

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
定期的な個別面談 (状況によっては保護者も交える) の実施 クラス担任制による対応		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門	フラワービジネス学科 プライダルフラワーコース (2年制) 旧課程	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間	310 時間	606 時間	120 時間	時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数 (学科定員)		生徒実員 (学科内数)	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		17人	1人	6人	39人	45人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 随時、担任教員による個別面談、進路指導を行い、各個人に合った学修支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)				平成30年度実績
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
17人 (100%)	0人 (0%)	16人 (94.1%)	1人 (4.9%)	
(主な就職、業界等) 株式会社ユー花園、株式会社花弘、株式会社ゴトウ花店、株式会社はこねフローリスト、他				
(就職指導内容) ビジネスマナーの授業内で履歴書や応募書類の描き方、面接での注意点を学生全体に指導するとともに、マンツーマンでの個別指導も行う。				

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>園芸装飾技能士3級、フラワー装飾技能士3級、2級、カラーコーディネーター3級、リテールマーケティング3級など、資格取得のための講座を開いている資格については毎年高い合格率を上げている。また、技能五輪全大会フラワー装飾部門の東京都代表に毎年数名が代表に選ばれている。</p> <p>(備考) (任意記載事項)</p>
--

中途退学の現状		平成30年度実績
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	2 人	5.0%
(中途退学の主な理由) 学習意欲の低下 (他業種へ進路変更) 1名、体調不良により修学継続困難1名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個別面談 (状況によっては保護者も交える) の実施 クラス担任制による対応		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門	フラワービジネス学科 グリーンデザインコース (2年制) 旧課程	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間/単位	396 時間	471 時間	120 時間		
			単位時間				
生徒総定員数 (学科定員)		生徒実員 (学科内数)	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		8人	0人	6人	38人	44人	

備考：対象学科内のコースで2年生が在籍しているが、2019年度より廃止。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 随時、担任教員による個別面談、進路指導を行い、各個人に合った学修支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			平成30年度実績
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 株式会社オザキフラワーパーク、他			

<p>(就職指導内容)</p> <p>ビジネスマナーの授業内で履歴書や応募書類の描き方、面接での注意点を学生全体に指導するとともに、マンツーマンでの個別指導も行う。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>園芸装飾技能士3級、フラワー装飾技能士3級、2級、カラーコーディネーター3級、リテールマーケティング3級など、資格取得のための講座を開いている資格については毎年高い合格率を上げている。また、技能五輪全大会フラワー装飾部門の東京都代表に毎年数名が代表に選ばれている。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		平成30年度実績
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	2 人	14.2%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習意欲の低下1名、体調不良により修学継続困難1名</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>定期的な個別面談(状況によっては保護者も交える)の実施 クラス担任制による対応</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	コース名	入学金	授業料 (年間)	その他	合計	備考
フラワー ビジネス学科 (2年制) 1年次	ブライダル フラワーコース	100,000円	950,000円	310,000円	1,360,000円	「その他」には実験・ 実習費と教材費が含まれる。
	フラワー デザインコース	100,000円	950,000円	310,000円	1,360,000円	「その他」には実験・ 実習費と教材費が含まれる。
修学支援（任意記載事項）						
<学園独自の奨学金制度> <input type="checkbox"/> 特別奨学金制度 <ul style="list-style-type: none"> ・入学前の資格取得の状況に応じて給付するもの ・高等学校在学中の全国大会での受賞や出場に応じて給付するもの ・A0事前学習のレポート、常識テストの結果に応じて給付するもの <input type="checkbox"/> 卒業生の紹介によって入学したものは入学金を減免する <input type="checkbox"/> 2年次進級時に一般常識・専門知識の試験結果に応じて給付するもの <公的な奨学金> <ul style="list-style-type: none"> ・日本学生支援機構奨学金への申請補助 						

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
前年度評価について、学校HP公開している 「情報公開の入口ページ」 https://www.ito.ac.jp/about/#a_info		
https://www.ito.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/t_self_assessment_h30.pdf		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校が実施する自己点検・自己評価について、学校外の関係者による評価を行うことにより、客観性、透明性を高めることや学校運営の改善を図ること等を目的とする。委員会は年1回開催し、その結果については教職員が情報共有するとともに、充足している点はさらなる充実を図り、不足している、もしくは改善が必要な点については、教職員会議等で検討の上、充足、改善を図り、授業計画や事業計画に反映していく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
業界団体 元事務局長	2018.12.18 ～ 2020.3.31	業界関係者
業界団体 会員 テクノ・ホルティ園芸専門学校講師	2018.12.11 ～ 2020.3.31	業界関係者
園芸用薬品類製造販売会社 管理職	2018.12.11 ～ 2020.3.31	企業
大手生花店 勤務	2018.12.17 ～ 2020.3.31	本校卒業生
フリーランス 東京テクノ・ホルティ園芸専門学校講師	2018.12.11 ～ 2020.3.31	本校卒業生

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

前年度評価について、学校 HP 公開している

「情報公開の入口ページ」 https://www.ito.ac.jp/about/#a_info

https://www.ito.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/t_evaluation_h30.pdf

第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.ito.ac.jp/>